



サクラちゃん

暖くん

保護犬、引退した盲導犬と楽しく幸せに

ひろしま みお
廣島美緒さん(広崎 2 町内)

保護犬だったサクラちゃん、盲導犬を引退した暖^{だん}くんと暮らしています。サクラちゃんは、9年前、八代保健所の保護犬としてホームページに掲載されていました。当時、家には益城町で保護した同じ犬種の先住犬・ハナちゃんでしたが、処分まで数日しかないという情報を見て、夫と相談し八代保健所までお迎えに行きました。ハナちゃんをみとった後、以前から盲導犬に関わる仕事がしたいと思っていた私は、今なら介護などの経験を生かして、リタイア犬を最後までみることができると思

い、九州盲導犬協会のリタイア犬ボランティアに登録しました。2年たった頃、協会の人が自宅やサクラちゃんの受け入れ状況を確認に来て認められ、令和5年11月、7歳で家に来ることになったのが暖くんです。

サクラちゃんは警戒心が強く、初めは触ることもできませんでした。今では自分から寄ってきてくれて、暖くんとも寄り添って寝るまでになりました。どんなことがあっても最後までみとるのは覚悟しているので、毎日をみんなで楽しく幸せに過ごせたらそれが一番ですね。



保護犬・保護猫との暮らし



9匹の猫に合わせる猫ファーストな暮らし

フラワーガーデンあすなろ社 ^{むら た のりあき} 村田憲昭さん(広崎 3 町内)

現在家にいる9匹の猫は全て元野良猫です。約25年前、店の前にいた1匹の子猫を猫好きの妻が歓迎したことから始まり、当時は近所に野良猫が多かったため、1匹、また1匹と増えていきました。野良猫に餌をあげる近所の高齢男性に注意しても改善されず、私が病院に連れて行き避妊去勢手術を受けさせ、男性の元に戻したこともあります。人に慣れていないどう猛な猫でとても苦労しましたが、男性が亡くなった後、その猫4匹を引き取り、猫仕様の専用小屋を作って飼っています。

生き物ですから、かわいいだけでなく粗相をしたり、吐いたり、病気になったりして、いずれは死ぬことも覚悟しておかなければなりません。臭い付けをする子もいるので家財道具も限られ、ソファがおける生活に憧れながら猫に合わせた生活をしています。「9匹も保護？」と思われるかもしれませんが、たまたま出会いがあり家族として迎えたという感覚です。自分に何かあったら猫の世話ができませんので、自分の健康に気を付けながら夫婦2人で協力し、9匹を最後まで幸せにしたいと思います。



フワフワちゃん

サビちゃん